

気持ちを伝える大切な言葉

小学校五年

私は、思ったことをすぐ口に出してしまい、友達ともめてしまうことがあります。言ってしまった後に後悔することも多いのですが、私は思っていることをがまんして人と関わるよりも、はっきり考えを言い合える方がいいと思っています。もちろん、相手を傷つけてしまう言葉は言ってはいけないと分かっているし、私も悪口や批判される言葉を言われるのはいやです。

そう思っているいても実際にはあまりうまくいかないこともあります。例えば、男の子とはちよつとしたことで口げんかになっちゃってしまったり、女の子はどうしても、思っていることを言い合って友達関係が気まぐずになることもあります。そうであっても、今はお互いのことをよく知っているし、毎日顔を合わせて過ごしているの、少し時間が経てばいつも通りの友達にもどることができています。それは、やっぱりその後にはきちんと言葉で謝ったり、相手の表情を見

て自分の行動を振り返ったりしているからだと思っています。

最近テレビやネットで、ひぼう中傷という言葉をよく聞きます。何かニュースになるようなことがあったとき、たくさんの人がとく名でそのことについてのを考えを投こうしています。私はいろいろな考えがあることはいいことだと思うし、その人を助ける意見もあると聞いたことがあるけど、その人をさらに傷つける言葉や、うそやでたらめな情報がたくさん流れているようです。そして、その情報のせいで差別をされたり、命まで落としたりすることがあると聞いて、言葉のこわさということを改めて感じています。

相手と向き合っている時も、顔が見えないままコミュニケーションをする時も、自分の言う言葉が相手を傷つけないか、同じことを伝えるとしてもどんな言い方をしたらいいかということ、私はこれからも考えたいです。うまくいかないこともあるかもしれないけれど、これから先、言葉を大切にしながらたくさんの人と関わり合い、なかよくなったり、友達関係を広げたりしていきたいです。